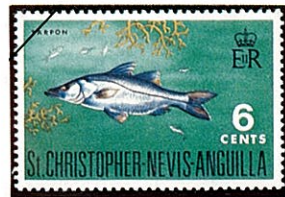


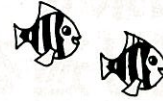
ボラ

分類：ボラ目 ボラ科
 学名：*Mugil cephalus*
 英名：Mullett

全世界の温帯から熱帯海域にかけて分布し、沿岸の内湾や河川附近に多く、浸透圧の調整機能が良く発達しているため、淡水域にも遡上する。5才以上が成熟年令と考えられるが、産卵場は外洋の深い所とされている。成長するにつれ名の変る出世魚の一つで、東京ではハク、オボコ(スバシリ)、イナ、ボラ、トドと呼称する。寒ボラは地方により重用される。卵巣からはカラスミが作られる。本科のものは胃の幽門部の筋肉が発達し、砂袋、ヘソ、ソロバン玉などと呼ばれる。海底の砂泥中の珪藻類を食べているので腸が特に長い。側線は不完全、体長8cm以上のもは脂腺が発達するためメナダ属 *Liza* と容易に区別される。また、メナダ属は幼魚でも河川を遡ることはなく、口唇は赤味をおびている。ボラが冬期に美味であるのに比し、メナダは夏に美味である。



オニボラの種類 *Liza sp*



タイガーフィッシュ

分類：コイ目 カラシン亜目 カラシン科
 学名：*Hydrocyon forskali*
 英名：Tiger fish

中央アフリカの熱帯地方の淡水域に分布する。体型はがっちりとした長紡錘形で、頭部は大きく体側全面は大きな鱗で被われている。小さな脂鱗をもっているが鮭類とは無縁である。円錐形の歯は上下の歯隙の間に互によく噛み合すことができ非常に鋭く、外部からよく目立ち易い。学名の *Hydrocyon* は「水生のネコ」の意で、俗名の Tiger fish と併せて、このような歯の形態に因づく。本種は中央アフリカにおける淡水魚の王とも呼ばれ、人間を含めて淡水中のあらゆる動物を襲撃し、獐猛さは格別で、北部ヨーロッパに生息する「カワカマス」(*Esox Lucius*) に匹敵する。

